

質 疑



経常収支比率から見る

町の財政状況は

問 経常収支比率が83.3%で、ここ数年は80%前半であるが、町はどう捉えているのか。

答 近年は80%前後であり、この数字であれば、それ以外に使えるお金があるので、この数字を今後も推移していきたい。今までは県内で三番

目だったが、平成28年の速報値では一番良い数字であり、町の財政運営は良好な状況にある。今後、今の状態が続いていくように自主財源等の確保に努めていく。

※財政構造の弾力性を判断する指標

産業集積促進事業費

足柄産業集積ビレッジ構想の現状は

問 宮台北地区の事業化に向け、整備プログラムの検討や地権者との合意形成の取り組みの状況は。

答 昨年5月に南足柄市と開成町で推進協議会を設立した。事業内容の検討や地権者の質問に答える勉強会等を3回開催した。宅地と農地では事業

に対する考え方や状況が違うので、その対応をした。工業系では企業誘致に向けた取り組みとして、工業立地について、資金5千万円以上で、東京の東側と神奈川県内の約4千企業にアンケートをとっている。

平成28年度 決算審議

平成28年度の一般会計及び各特別会計、企業会計決算について、9月定例会議において審議を行いました。審議は町政全般にわたり、数多くの質疑がありました。その中から、いくつかをお知らせします。

子育て環境充実事業費

プレイパーク事業

今後の展開は

問 プレイパークを実施した屋敷下第1公園は住宅街の公園なので、子どもの声や駐車場など課題があったと聞いているが。

答 平成27年度から3年間の区切りで、行政側が

中心となって進めている。昨年度は、町内での事業展開の方法の課題を解決するために検証し、今後の運営を住民団体が中心となつて展開していくための課題を中心に検討し

た。まず、町内に定着させ、最終的には常設化を目指している。今年度は住民団体の基盤を整え、回数の増や住民団体の研修を充実させ、協力していただける方の仲間づくりを積極的に進めている。



プレイパークの様子

新庁舎建設後に

町民サービスは向上するのか

問 町に適したワンストップサービスなど、執務環境整備の提供方法について調査研究した成果報告は。

トップサービスの研究を続けていく。



答 窓口の現状から、本町に合うサービスの話し合いをした。庁内においてもワーキンググループを作り、今後もワンス

地域密着型介護サービス給付事業

町の介護サービスの現状は

問 要介護1から5の方の地域密着型サービスの利用が前年度671件から1507件に増えている。町内で認知症と診断される方が増えているのか。

答 認知症の認定率は、高齢化率と比べて、同様あるいはそれ以上の伸び

である。また、地域密着型サービスがこの近辺に増え、近隣の市町村でも許可を得ればサービスを受けることができるので、行き慣れたところでの利用が増えている。



開成町駅前窓口コーナー関係費

「ぶらっと・かいせい」の今後の展開は

問 「ぶらっと・かいせい」内の子育て支援センター利用者からはどのような意見があったか。また、今後の展開は。

答 開設当初は駐車場の利便性が悪いという意見もあったが、現在は臨時駐車場を整備して対応を図っている。

また、食事の時間等のルールを決めているが、運営上の柔軟さを求める声があり、判断が難しく、内容に応じて対応している。

今後は第二土曜日に開設したとき、父親を対象とした講座を実施し、きめ細かなサービスを提供できるようにしていく。



子育て支援センターの様子

あしがらローカルブランディング推進事業費

千年の湧水あしがら水源のPR効果は

問 「千年の湧水あしがら水源」をブランド・コンセプトに、小田急トレインビジョンでのPR動

画の放映やポスター掲示などをした手応えは。一定の効果はあった。

答 小田急線の車両の中では、他の町のPR動画も配信しており、また、電車内の過ごし方も人ぞ



小田急トレインビジョン

新エネルギー利活用促進事業費

小水力発電による町のPRは

問 平成28年度に視察等があったのか。また、観光面でのPRは。

答 中国のテレビ局の取材、NPO法人、東京都日の出町、ドイツから留学生の視察等があった。経済面での活用はハードルが高いが、興味を持っている方は多い。環境問

題を考える大会等には積極的出向いてPRやパイプを作っていく、交流人口を増やしていきたい。町単独では難しいので、広域連携の観点も含めてPRに取り組んでいきたい。

